



**Hewlett Packard**  
Enterprise

## **iLO Amplifier Pack についての FAQ**

### **摘要**

本書には、iLO Amplifier Pack の使用に関するよくあるご質問とその回答が記載されています。

## 商標

Intel<sup>®</sup>、インテル、Itanium<sup>®</sup>、Optane<sup>™</sup>、Pentium<sup>®</sup>、Xeon<sup>®</sup>、Intel Inside<sup>®</sup>および Intel Inside ロゴは、インテルコーポレーションまたはその子会社のアメリカ合衆国およびその他の国における商標または登録商標です。

Microsoft<sup>®</sup>および Windows<sup>®</sup>は、米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

Adobe<sup>®</sup>および Acrobat<sup>®</sup>は、米国 Adobe Systems Incorporated の登録商標です。

Java<sup>®</sup>および Oracle<sup>®</sup>は、Oracle および/またはその関連会社の登録商標です。

UNIX<sup>®</sup>は、The Open Group の登録商標です。

すべてのサードパーティのマークは、それぞれの所有者に帰属します。

## ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から使用許諾を得る必要があります。 FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ（Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items）は、ベンダー標準の商業用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトの外に移動します。 Hewlett Packard Enterprise は、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外の情報を管理する権限を持たず、また責任を負いません。



# 目次

一般情報.....	4
前提条件.....	5
ネットワーキング.....	7
セキュリティ.....	8
インベントリ.....	9
アラート.....	10
アップデート.....	11
Web サイト.....	12
サポートと他のリソース.....	13
Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス.....	13
アップデートへのアクセス.....	13
リモートサポート（HPE 通報サービス）.....	14
保証情報.....	14
規定に関する情報.....	14
ドキュメントに関するご意見、ご指摘.....	15



# 一般情報

- ・ **iLO Amplifier Pack をサポートしているのはどのサーバーですか。**

ラックサーバー、タワーサーバー、Apollo サーバー、ブレードサーバーを含め、iLO 4 が搭載されているすべての HPE ProLiant Gen8 サーバー、Gen9 サーバー、さらに iLO 5 が搭載されているすべての Gen10 サーバーと Gen10 Plus サーバー、Moonshot サーバーおよび Edgeline サーバーです。サポートされるデバイスについては詳しくは、iLO Amplifier Pack 1.60 リリースノートを参照してください。

---

**注記:** SPP ベースのオンライン/オフラインアップデートは、Edgeline および Moonshot デバイスには利用できません。Edgeline/Moonshot コンポーネントパックを使用して、iLO Amplifier Pack の **Servers** からこれらのデバイスをアップデートします。

---

- ・ **iLO Amplifier Pack は何台のサーバーをサポートできますか。**

iLO Amplifier は単一インスタンスで 10,000 台のサーバーをサポートできます。

- ・ **iLO Amplifier Pack は、HPE OneView によって管理されているサーバーで使用できますか。**

はい。iLO Amplifier Pack は、HPE OneView Advanced で管理されているサーバーを検出してインベントリを作成することができます。ただし、すべてのサーバー操作は無効になります。HPE OneView Standard で監視されているサーバーでは、すべての iLO Amplifier Pack 機能をご利用いただけます。

- ・ **iLO Amplifier Pack は、iLO に IPv6 を使用するサーバーでも使用できますか。**

iLO Amplifier Pack は、バージョン 1.30 以降で IPv6 をサポートします。

- ・ **iLO Amplifier Pack はアクティブなファームウェアアップデートを同時にいくつ展開できますか。**

iLO Amplifier Pack は、最大 50 台のサーバーを同時にアップデートできます。

- ・ **iLO Amplifier Pack は、Hyper-V や KVM などのハイパーバイザーでも使用できますか。**

iLO Amplifier Pack は、ESXi ハイパーバイザーに加えてバージョン 1.40 以降で Hyper-V をサポートし、バージョン 1.55 以降で KVM をサポートします。

---

**注記:** また、VMPlayer で iLO Amplifier Pack を使用することもできます。これによって、Windows または Linux システム上で事前に構成された ESXi 仮想マシンを実行できるようになります。

---

- ・ **iLO Amplifier Pack で API コマンドを使用できますか。**

バージョン 1.50 以降、iLO Amplifier Pack は Redfish API のテクニカルプレビューを導入しています。API を使用することで、ユーザーはプログラムでアラートのサブスクリプションと自動化を行えるようにもなります。最大 10 人のサブスクリイパーが、1 つの iLO Amplifier Pack インスタンスをリッスンできます。詳しくは、[iLO Amplifier Pack API ドキュメント](#)を参照してください。

# 前提条件

- ・ **iLO Amplifier Pack** を使用するにはどのような前提条件が必要ですか。

iLO Amplifier Pack には、以下のコンポーネントバージョンが必要です。

サーバー	コンポーネントバージョン
Gen8 および Gen9 サーバー	<ul style="list-style-type: none"><li>◦ iLO 4 v2.30 以降（HPE では iLO 4 v2.54 以降へのアップグレードを推奨）<sup>1</sup></li><li>◦ iLO ライセンス<sup>2</sup></li><li>◦ Windows の場合は AMS（iLO Agentless Management Service）v10.7.0 以降、Linux の場合は AMS v2.6.1 以降</li><li>◦ iSUT（Integrated Smart Update Tools）v2.0.0 以降</li></ul>
Gen10 サーバー	<ul style="list-style-type: none"><li>◦ iLO 5 v1.10 以降</li><li>◦ iLO ライセンス<sup>2</sup></li><li>◦ Windows の場合は AMS v1.15 以降、Linux の場合は AMS v1.1.0 以降、ESXi の場合は AMS v600.11.3.0 以降</li><li>◦ iSUT v2.0.0 および v2.0.1</li><li>◦ VMware ESXi OS を実行するサーバーの場合は iSUT v2.3.6 以降</li></ul>
Gen10 Plus サーバー	<ul style="list-style-type: none"><li>◦ iLO 5 2.10 以降</li><li>◦ iLO ライセンス<sup>2</sup></li><li>◦ Windows の場合は AMS v2.10 以降、Linux の場合は AMS v2.1.0 以降、ESXi の場合は AMS v700.3.5.0 以降</li><li>◦ iSUT v2.5.0 以降</li></ul>
Edgeline/Moonshot サーバー	<ul style="list-style-type: none"><li>◦ iLO 5 v2.10 以降</li><li>◦ iLO ライセンス<sup>2</sup></li><li>◦ AMS v2.30 以降</li></ul>

<sup>1</sup> iLO Amplifier Pack でファームウェアをアップデートするには iLO 4 v2.54 が必要です。iLO Amplifier Pack を使用したファームウェアのアップグレードについて詳しくは、iLO Amplifier Pack ユーザーガイド（<https://www.hpe.com/support/ilo-ap-ug-ja>）を参照してください。

<sup>2</sup> iLO Amplifier Pack の基本的な機能の中には、iLO ライセンスでアクセスできるものもありますが、大部分の機能にアクセスするには iLO Advanced ライセンスが必要です。iLO Amplifier Pack 1.15 に導入されているリカバリ管理機能については、iLO Advanced ライセンスが必要です。iLO Amplifier Pack のライセンス区分について詳しくは、iLO Amplifier Pack ユーザーガイド（<https://www.hpe.com/support/ilo-ap-ug-ja>）を参照してください。

- ・ **使用している Windows NFS サーバーで iLO Amplifier Pack を利用できないのはなぜですか。**

以下の点をご確認ください。

- Windows のマニュアルを参照し、NFS サーバーが Windows で適切にセットアップされていることを確認します。
- 次の設定がネットワーク共有で適切であることを確認します。

1. **No Server Authentication** を選択します。

2. **Allow unmapped user Unix access (by UID/GID) from the Windows server** を選択します。iLO Amplifier Pack では **Allow anonymous access** 設定を利用できません。

・ **iLO Amplifier Pack のために個別のライセンスを購入する必要はありますか。**

いいえ。iLO Amplifier Pack のための個別のライセンスは必要ありません。有効なメール ID を使用するだけで仮想アプライアンスをダウンロードできます。iLO Advanced ライセンスがインストールされているサーバーでは、iLO Amplifier Pack の機能をすべてご利用いただけます。一部の機能は、iLO Standard、iLO Essentials、および iLO Scale-Out の各ライセンスでもご利用いただけます。

iLO のライセンスおよびライセンスがサポートする機能のリストについては、iLO Amplifier Pack ユーザーガイド (<https://www.hpe.com/support/ilo-ap-ug-ja>) を参照してください。

・ **iLO Advanced Premium Security Edition ライセンスは廃止される予定ですか。**

HPE ではお客様のライセンスの選択と購入プロセスを簡素化するために、HPE iLO ライセンスオプションの数を減らしています。このため、HPE は iLO Advanced Premium Security Edition の機能を iLO Advanced ライセンスに含めることを決定しました。2019 年の早期に iLO 5 v1.40 が Gen10 サーバーにリリースされるのを皮切りに、お客様が iLO 5 v1.40 にアップグレードした場合（および既存の iLO Advanced ライセンスを持っている場合）、iLO Advanced Premium Security Edition の機能が自動的に無料で付与されます。iLO 5 v1.40 がリリースされた後は、iLO Advanced Premium Security Edition ライセンスを購入することはできません。iLO Advanced Premium Security Edition を既にお持ちのお客様は、以前と同じようにセキュリティ機能を使い続けることができます。これらの変更は、当社のカスタマーサポートやサポート契約に影響を及ぼしません。

詳細については、HPE iLO ライセンスに関するよくあるご質問 (<https://www.hpe.com/support/iLOLicenseFAQ-ja>) を参照してください。

・ **iLO Amplifier Pack のアクティブ化キーはどうすれば入手できますか。**

アクティブ化キーは、ダウンロード用のリンクと一緒にメールで送信されます。iLO Amplifier Pack のインストール後、アクティブ化キーを使用してアプリケーションをアクティブ化します。今後使用できるように、登録確認メールを保存しておくことをお勧めします。

iLO Amplifier Pack v1.70 以降は、**My HPE Software Center** からダウンロードでき、アクティベーションリンクは必要ありません。

# ネットワーキング

- ・ **iLO Amplifier Pack を使用するには、ファイアウォールでどのポートを開く必要がありますか。**

iLO Amplifier Pack はサーバーを管理するために REST/RIS の呼び出しを使用するため、iLO Amplifier Pack と iLO 間で開く必要があるポートはポート 443 のみです。クライアントシステム上の Web ブラウザーも、ポート 443 で iLO Amplifier Pack と接続します。Web サーバー方式を使用したオンラインまたはオフラインアップデートを実行する場合は、Web サーバーがファイルをホストする位置でポートを開く必要があります。たとえば、Web サーバーがポート 80 を使用してホストする場合は、ファイアウォールでも同じようにポート 80 を開く必要があります。IRC が必要な場合は、ポート 22 を開いて、SSH およびポート 17990 を使用します。

- ・ **どうして iLO Amplifier Pack には NIC が 2 つあるのですか。**

iLO Amplifier Pack は、ESXi サーバー上のゲストと同じように、実行中の仮想マシンとして提供されます。どのゲスト OS にも、ホストシステムによって提供される NIC があります。iLO Amplifier Pack はこれらの NIC を使用します。

2 つの NIC が提供されているのは、2 つの個別のネットワーク（https 接続を介して iLO に接続するネットワークと、メールまたは IFTTT サービスを利用するためにインターネットに接続するネットワーク）に iLO Amplifier Pack が接続できるようにするためです。管理ネットワークからインターネットにアクセスできる場合は、2 つ目の NIC を無効にできます。

- ・ **NIC2 で静的 IP アドレスを使用できますか。**

はい。NIC2 は静的 IP アドレスで設定することができます。

- ・ **iLO Amplifier Pack にはどのような帯域幅要件がありますか。**

iLO Amplifier Pack に追加されたサーバーの検出とインベントリは、iLO から入手可能な Redfish API を使用して実行されます。この転送には、サーバーあたり 150~200KB が必要です。

HPE InfoSight の場合、AHS は iLO から日次でダウンロードされ、その後 HPE バックエンドにアップロードされます。AHS ファイルのサイズは、サーバーのハードウェア構成によって異なります。iLO Amplifier Pack は、AHS ファイルを 1 日に 1 回だけダウンロードします。このファイルのサイズは約 50MB です。iLO の新しいバージョン（Gen10 サーバーの場合は v1.37、Gen8/Gen9 サーバーの場合は v2.70）では、1 日あたりの AHS ファイルサイズが小さくなります。

アップデートを実行するために、iLO Amplifier Pack は仮想メディアを使用して、Gen8/Gen9 システムの iLO に SPP ISO イメージをマウントします。使用される帯域幅は、サーバーごとにアップデートされるコンポーネントの数によって異なります。Gen10 サーバーの場合、コンポーネントは iLO NAND システムにアップロードされます。ここで使用される帯域幅は、サーバーごとにアップデートされるコンポーネントの数に基づきます。



# セキュリティ

- ・ 追加済みのサーバーの iLO 認証情報を変更するにはどうすれば良いですか。

iLO Amplifier Pack は、次のインベントリ更新サイクル中に（サーバーの管理に使用される）iLO 認証情報の変更を検出します。インベントリが更新されると、自動的に、新しい認証情報を入力するように求められます。インベントリは数時間ごとに更新され（間隔はユーザーが構成できます）、インベントリの更新が完了すると、新しい認証情報を入力するように求められます。サーバーが複数ある場合、IP 範囲または CSV のアップロードオプションを使用してサーバーを再検出できます。詳しくは、<https://www.hpe.com/support/ilo-ap-ug-ja> で入手できる iLO Amplifier Pack ユーザーガイドを参照してください。

- ・ 管理者パスワードはどうしたらリセットできますか。

パスワードのリセットとリカバリはサポートされていません。管理者パスワードを変更するには、iLO Amplifier Pack を再インストールします。iLO Amplifier Pack 構成のバックアップを取ってある場合は、そのバックアップからリストアできます。

- ・ iLO Amplifier は Active Directory または LDAP をサポートしていますか。

iLO Amplifier のバージョン 1.20 以降では、Active Directory の LDAP がサポートされていますが、OpenLDAP は今後のバージョンでサポートされる予定です。詳しくは、<https://www.hpe.com/support/ilo-ap-ug-ja> で入手できる iLO Amplifier Pack ユーザーガイドを参照してください。

- ・ iLO のログイン認証情報が変更された場合は、iLO Amplifier の認証情報をどのようにアップデートするのが最善ですか。

管理者は、IP 範囲の検出または CSV のアップロードを使用することによって、新しい認証情報を使用してサーバーを再検出することができます。詳しくは、<https://www.hpe.com/support/ilo-ap-ug-ja> で入手できる iLO Amplifier Pack ユーザーガイドの「CSV ファイルからのサーバーの追加」を参照してください。

- ・ iLO Amplifier Pack で数分後にログアウトされるのはなぜですか。

LDAP タイムアウトを避けるために、特定のベース DN 値を使用することをお勧めします。たとえば、"DC=domain,DC=com"を使用する代わりに、"CN=path1,DC=domain,DC=com"、"OU=path2,DC=domain,DC=com"、または"CN=path1,OU=path2,DC=domain,DC=com"などの特定の値を使用します（ユーザーがこの指定されたパスに存在すると仮定します）。



# インベントリ

- ・ **サーバー情報を、管理システムなどの条件ごとにグループ化することはできますか。**  
はい、iLO Amplifier Pack v1.30 以降では、サーバーの論理グループを作成したり、iLO 連携グループを使用したりすることができます。
- ・ **一部の管理対象サーバーでソフトウェア情報が見つからないのはなぜですか。**  
ソフトウェアインベントリが表示されるのは、iLO 4 v2.54 以降を搭載しているシステムのみです。v2.50 の場合、iLO Amplifier Pack がインベントリ情報を取得する方法で、REST インターフェイスを使用してソフトウェアインベントリを入手することはできません。REST インターフェイスでのサポートは v2.54 から導入されました。iLO Amplifier Pack でソフトウェア情報を表示するには、AMS (HPE Agentless Management Service) も稼働している必要があります。
- ・ **オペレーティングシステム情報が、検出されたサーバーのインベントリに表示されないのはなぜですか。**  
管理対象サーバーに、適切なバージョンの AMS (HPE Agentless Management System) と iLO v2.54 以降がインストールされていることを確認してください。詳しくは、<https://www.hpe.com/support/ilo-ug-ja> で入手できる iLO Amplifier Pack ユーザーガイドを参照してください。
- ・ **iLO 4 v2.30 サーバーは検出されましたが、インベントリ情報を確認できません。**  
iLO Amplifier Pack では、iLO 4 ファームウェアバージョン 2.30 以降がインストールされているサーバーを検出できます。ただし、インベントリ情報を収集して表示するには、iLO 4 ファームウェアバージョン 2.50 が必要です。
- ・ **iLO Amplifier Pack から HPE OneView にサーバーインベントリ情報を直接エクスポートするにはどうすれば良いですか。**  
iLO Amplifier Pack のユーザーインターフェイスには、HPE OneView に直接転送するオプションがありません。しかし、レポート機能を使用することで、大部分のサーバー情報をダウンロードできます。ファームウェア、ライセンス、基本デバイス、ハードウェアインベントリ、ソフトウェアインベントリ、および各カスタムレポートでは、データをカンマ区切りファイル (CSV) にエクスポートしたりダウンロードしたりすることができます。必要なレポートページに移動して、そのページの下にある **Export to CSV** をクリックするだけです。さらに、MS PowerShell を使用してデータを HPE OneView にインポートすることもできます。
- ・ **重複するホスト名で複数のサーバーを追加できますか。**  
いいえ。iLO Amplifier Pack は、1 つのホスト名が付いたサーバーを 1 台だけサポートします。

# アラート

- ・ 複数のメールアドレスにアラートを送信するにはどうしたら良いですか。

iLO Amplifier Pack v1.30 以降では、ユーザーはアラートを送信するために、セミコロンで区切られた複数の電子メールアドレスを入力できます。

- ・ 特定のタイプのアラームをフィルター処理することはできますか。

iLO Amplifier Pack では、ハードウェア障害、セキュリティ、メンテナンスなどのカテゴリに基づいてアラートのタイプを分類できます。**Configuration and Settings** セクションの **Alert Settings** ページで、アラートのカテゴリおよび深刻度を指定してください。

- ・ アラートメールの送信に使用できるポートを教えてください。

iLO Amplifier Pack v1.01 以降の場合は、ポート 25 を使用してメールを送信できます。また、セキュアポート 587 からメールを送信するように構成することもできます。

- ・ プログラムでアラートを受信できますか。

バージョン 1.50 以降、iLO Amplifier Pack を使用すると、ユーザーは Redfish API を使用してプログラムでアラートのサブスクライブと自動化を行えます。最大 10 人のサブスクライバーが、1 つの iLO Amplifier Pack インスタンスをリッスンできます。詳しくは、[iLO Amplifier Pack API ドキュメント](#)を参照してください。

# アップデート

- ・ **オンラインアップデートを実行した際に、iSUT コンポーネントがダウングレードされなかったのはなぜですか。**

バージョン 2.0.1 では、iSUT はダウングレードをサポートしていません。インストールセットに iLO Amplifier Pack でのダウングレード用の iSUT コンポーネントが含まれている場合、iSUT はそのコンポーネントを無視します。

- ・ **アップデートが何度も失敗するのはなぜですか。**

オンラインまたはオフラインアップデートで問題が発生する場合は、サーバー構成がすべての前提条件を満たしていることを確認してください。詳細については、iLO Amplifier Pack ユーザーガイドのアップデートのセクションと、<https://www.hpe.com/support/ilo-ap-docs> にある最新のリリースノートを参照してください。

それでも問題が解決しない場合は、サポート窓口までお問い合わせください。

- ・ **デュアルブート環境でサーバーのアップデートが失敗するのはなぜですか。**

デュアルブート環境では、iSUT が環境に対していくつかの依存関係を持つため、ステージングディレクトリの設定が必要になることがあります。詳しくは、Integrated Smart Update Tools 2.5.x.x User Guide for Windows, Linux, and VMware ESXi を参照してください。



# Web サイト

## iLO Amplifier Pack

---

注記: 製品のフィードバックについては、[iloamplifiersupport@hpe.com](mailto:iloamplifiersupport@hpe.com) に電子メールを送信してください。  
製品に関するお問い合わせや問題については、当社のサポートチャネルを参照してください。

---

### 製品ページ

<https://www.hpe.com/servers/iloamplifierpack>

### ダウンロードポータル

<https://www.hpe.com/downloads/iloamplifierpack>

### iLO Amplifier Pack Information Library

<https://www.hpe.com/support/ilo-ap-docs>

### ユーザーガイド

<https://www.hpe.com/support/ilo-ap-ug-ja>

### よくある質問

<https://www.hpe.com/support/ilo-ap-faq-ja>

### リリースノート

<https://www.hpe.com/support/ilo-ap-rn-ja>

## iLO

### iLO 4

<https://www.hpe.com/info/ilo/docs>

### iLO 5

<https://www.hpe.com/info/ilo/docs>

### iLO ライセンス

<https://www.hpe.com/info/ilo/licensing>

## HPE ProLiant サーバー

### HPE ProLiant Gen8 サーバー

<https://www.hpe.com/info/proliantgen8/docs>

### HPE ProLiant Gen9 サーバー

<https://www.hpe.com/support/proliantgen9/docs>

### HPE ProLiant Gen10 サーバー

<https://www.hpe.com/info/proliantgen10-docs>

## HPE InfoSight

### HPE InfoSight for Servers

<https://www.hpe.com/servers/infosight>

## 全般

### Hewlett Packard Enterprise Information Library

<https://www.hpe.com/info/EIL>

# サポートと他のリソース

## Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス

- ・ ライブアシスタンスについては、Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide の Web サイトにアクセスします。

<https://www.hpe.com/info/assistance>

- ・ ドキュメントとサポートサービスにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイトにアクセスします。

<https://www.hpe.com/support/hpesc>

### ご用意いただく情報

- ・ テクニカルサポートの登録番号（該当する場合）
- ・ 製品名、モデルまたはバージョン、シリアル番号
- ・ オペレーティングシステム名およびバージョン
- ・ ファームウェアバージョン
- ・ エラーメッセージ
- ・ 製品固有のレポートおよびログ
- ・ アドオン製品またはコンポーネント
- ・ 他社製品またはコンポーネント

## アップデートへのアクセス

- ・ 一部のソフトウェア製品では、その製品のインターフェイスを介してソフトウェアアップデートにアクセスするためのメカニズムが提供されます。ご使用の製品のドキュメントで、ソフトウェアの推奨されるソフトウェアアップデート方法を確認してください。
- ・ 製品のアップデートをダウンロードするには、以下のいずれかにアクセスします。

### Hewlett Packard Enterprise サポートセンター

<https://www.hpe.com/support/hpesc>

### Hewlett Packard Enterprise サポートセンター：ソフトウェアのダウンロード

<https://www.hpe.com/support/downloads>

### My HPE Software Center

<https://www.hpe.com/software/hpesoftwarecenter>

- ・ eNewsletters およびアラートをサブスクライブするには、以下にアクセスします。

<https://www.hpe.com/support/e-updates-ja>

- ・ お客様の資格を表示、アップデート、または契約や保証をお客様のプロファイルにリンクするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの **More Information on Access to Support Materials** ページに移動します。



- ❗ **重要:** 一部のアップデートにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからアクセスするときに製品資格が必要になる場合があります。関連する資格を使って HPE パスポートをセットアップしておく必要があります。

## リモートサポート（HPE 通報サービス）

リモートサポートは、保証またはサポート契約の一部としてサポートデバイスでご利用いただけます。リモートサポートは、インテリジェントなイベント診断を提供し、ハードウェアイベントを Hewlett Packard Enterprise に安全な方法で自動通知します。これにより、ご使用の製品のサービスレベルに基づいて、迅速かつ正確な解決が行われます。ご使用のデバイスをリモートサポートに登録することを強くおすすめします。

ご使用の製品にリモートサポートの追加詳細情報が含まれる場合は、検索を使用してその情報を見つけてください。

リモートサポートおよびプロアクティブケア情報

HPE 通報サービス

<http://www.hpe.com/jp/hpalert>

HPE プロアクティブケアサービス

<http://www.hpe.com/services/proactivecare-ja>

HPE データセンターケアサービス

<http://www.hpe.com/services/datacentercare>

HPE プロアクティブケアサービス：サポートされている製品のリスト

<http://www.hpe.com/services/proactivecaresupportedproducts>

HPE プロアクティブケアアドバンストサービス：サポートされている製品のリスト

<https://www.hpe.com/jp/ja/services/proactive-care-central.html>

## 保証情報

ご使用の製品の保証情報を確認するには、以下のリンクを参照してください。

HPE ProLiant と IA-32 サーバーおよびオプション

<https://www.hpe.com/support/ProLiantServers-Warranties>

HPE Enterprise および Cloudline サーバー

<https://www.hpe.com/support/EnterpriseServers-Warranties>

HPE ストレージ製品

<https://www.hpe.com/support/Storage-Warranties>

HPE ネットワーク製品

<https://www.hpe.com/support/Networking-Warranties>

## 規定に関する情報

安全、環境、および規定に関する情報については、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからサーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報を参照してください。

<https://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts>

## 規定に関する追加情報

Hewlett Packard Enterprise は、REACH（欧州議会と欧州理事会の規則 EC No 1907/2006）のような法的な要求事項に準拠する必要に応じて、弊社製品の含有化学物質に関する情報をお客様に提供することに全力で取り組んでいます。この製品の含有化学物質情報レポートは、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/reach>

RoHS、REACH を含む Hewlett Packard Enterprise 製品の環境と安全に関する情報と準拠のデータについては、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/ecodata>

社内プログラム、製品のリサイクル、エネルギー効率などの Hewlett Packard Enterprise の環境に関する情報については、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/environment>

## ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterprise では、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、ドキュメントフィードバック担当 ([docsfeedback@hpe.com](mailto:docsfeedback@hpe.com)) へお寄せください。このメールには、ドキュメントのタイトル、部品番号、版数、およびドキュメントの表紙に記載されている刊行日をご記載ください。オンラインヘルプの内容に関するフィードバックの場合は、製品名、製品のバージョン、ヘルプの版数、およびご利用規約ページに記載されている刊行日もお知らせください。

